



このコーナーでは、
3歳児健診で、むし歯のなかった
子どもたちを紹介しま〜す。
(11月29日健診より)

※写真を希望される方は
保健センターまで



中村 栄太くん(石瀬)



樋口 海くん(和納3区)



山田 留美ちゃん(和納6区)



鶴巻 魁くん(高橋)

幼児の医療費助成制度

●受給者証交付申請を忘れずに●

お子さん(幼児)が病院などで受診した場合、その医療費を助成する制度があります。この制度を受けるには、受給者証の交付申請が必要です。忘れずに申請して下さい。

【申請方法】

- 対象者：岩室村に住所を有する1歳~4歳未満のお子さんをお持ちの方。
 - ※すでに「幼児の受給者証」をお持ちの方は、申請の必要はありません。
 - ※1歳未満児をお持ちの方は、誕生月に申請してください。
 - ※受給資格に変更が生じた場合は、お申し出下さい。
 - 申請場所：福祉保健課窓口
 - 持参するもの：健康保険証・印かん
- 【助成区分】
- 通院：1歳~3歳未満児(1・2歳児)
 - 入院：1歳~4歳未満児(1・2・3歳児)

【お問い合わせ】
岩室村福祉保健課
☎82-5714

住民健診の申込をお忘れなく!

平成15年度も村では、村民の健康管理応援のため、検診事業(基本健診・人間ドック助成・各種がん検診など)を実施します。

●1月の下旬頃に「住民健診申込書」を各世帯へ配布します。

対象者の把握や、検診をスムーズに運営するため、区長もしくは班長へ「住民健診申込書」を提出して下さい。

なお、申し込みを忘れると、検診を受診できないことがありますので、必ず忘れずに申し込みをして下さい。
〈注意〉人間ドック助成事業は、年度途中の申し込みができません。

○「住民健診申込書」が届かない場合、記入方法がわからない場合は、岩室村保健センター ☎82-5726 までご連絡下さい。

知ってる?国民年金

●加入者は...

国民年金は、20歳以上の日本国内に住むすべての人が加入者です。加入の仕方(種別)は次の3種類です。

- 第1号被保険者** 日本国内に住む20歳以上60歳未満の自営業者・学生など
- 第2号被保険者** 厚生年金や共済組合に加入している人
- 第3号被保険者** 第2号被保険者の扶養配偶者で20歳以上60歳未満の人

●届出は忘れずに

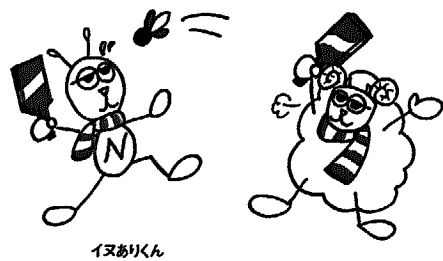
20歳になったら、国民年金への加入の手続きが必要です。第2号被保険者以外の人は、自分で届出します。

■第1号被保険者...岩室村住民課住民係(国民年金窓口)

■第3号被保険者...配偶者の勤務する事業所

また、離職や婚姻などにより、加入の種別が変わったときも、届出が必要です。届出先は次のとおりです。

変更前	変更後	届出先
第2号被保険者	第1号被保険者	岩室村住民課住民係(国民年金窓口)
第3号被保険者	第1号被保険者	岩室村住民課住民係(国民年金窓口)
第1号被保険者	第3号被保険者	配偶者の勤務する事業所
第2号被保険者	第3号被保険者	配偶者の勤務する事業所



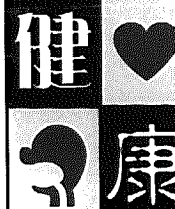
イヌありくん

国民年金からのお知らせ

住民課
☎82-5713

【お問い合わせ】
三条社会保険事務所
☎0256-32-2239
または 岩室村住民課 住民係 まで

Vol. 177



専科



こんにちは
保健師です

保健センター

☎82-5726

『3時間1人が死亡!』

1日に120人が発病し、3時間に1人が亡くなると聞いてどんな病気を思い浮かべますか?
今回は、増加している結核について考えてみましょう。



たら早めに受けることが望まれます。

◆接種を忘れていませんか?

保健師から問題
どれが正しいでしょうか?
Q1 赤ちゃんが接種するBCGは
①接種は個人の自由
②しなくてもよい
③法律で決められている
Q2 集団感染で最も多い場所は
①会社・事業所
②病院
③高校や塾
Q3 H12年に結核で亡くなった2,650人の72%は
①50歳
②60歳
③70歳以上
の人でした。

乳幼児の結核を防ぐために、BCGは結核予防法で接種が定められています。
赤ちゃんは免疫の作られ方が弱いために重症化しやすい傾向にあり、髄膜炎になると30%が亡くなるといわれています。
BCGは接種したから病気にならないというわけではなく、重症化を防ぐためのワクチンです。外出機会が増えると感染しやすくなるため、生後3ヶ月を過ぎ

◆若くても油断大敵!!

BCG接種を受けている人も絶対に大丈夫とは限りません。予防効果は約10~15年といわれており、過激なダイエットや不規則な生活で抵抗力が低下している若者からも結核が発生しており、会社・病院について、集団感染しやすい場の第3位に高校・塾があがっています。
年に1回の胸部レントゲ

◆再発に注意!!

若い頃、結核が流行っていた世代の人は、結核菌が肺の中で眠っており、体力や抵抗力が低下した時に顔を出します。
平成12年に全国で2,650人の方が結核で亡くなりましたが、その約72%は70歳以上のお年寄りの方でした。結核の初期症状はかぜとよく似ています。体力を落とさないように体に気をつけることも、自己判断せず、体調が悪いと思ったら、早めの受診を心がけましょう。

医療が発達している現代でも結核が増えつづけている最大の原因は関心の低下ではないでしょうか?
①早期のBCG
②年に1回の検診
③おやつと思ったら早めの受診
でわが国最大の感染症を予防しましょう。

●結核の5大症状

「せきやたんが続いたら結核を疑え」は今も変わらぬ結核へのシグナルです。必ず医師の診察を受けましょう。

注意したいのは、結核がかぜの症状に似ていることから、かぜと自己判断して素直に受診せず、かえって悪化する恐れがあります。この間に、結核菌を多くの人にふりまくことになりやすくなります。特に2週間以上経ってもせきが治らない場合には、結核を疑って検査を受けることが大切です。

せき たん 発熱 血たん 胸痛

寝たきりなどでレントゲンが撮れない方には、痰の検査を予定していますので、希望される方は保健センターにお問い合わせください。